

環境汚染、健康被害、土壌劣化、水汚染、家族農の減少、遠距離輸送、食糧システムの寡占化などをもたらしてきた近代農業のあり方を転換させる試みが世界各国で確かな広がりを見せています。

FAO(国連食料農業機構)が2007年5月、ローマで開催した「International Conference on Organic Agriculture and Food Security」の報告書では、現代の食料生産システムが抱える矛盾に対して、有機農業の有効性を指摘して注目されています。

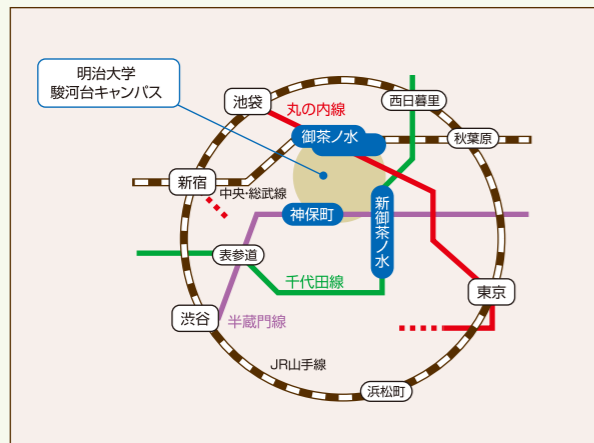
地域農業が守られ、安全な栄養価のある食べ物が供給され、近くで手に入れることができ、多様性による安定性があり、きれいな水や良質の土壌を生み、こうした食べ物の利用により適切な栄養の確保ができ、人々の健康へつながることなど。

日本では昨年末、有機農業推進法が成立し、国の政策として位置づけられるという画期的時代を迎えています。しかし、まだまだ有機農業への誤解、認知度の低さがあるのが現実です。日本においては有機農産物の流通に占める割合は慣行野菜の1%以下とされています。

有機農業をさらに推進拡大させるための一助として、私どもは有機農業に関心を寄せるさまざまなジャンルの方からなる実行委員会を立ち上げ、有機農業の世界に關係する優れたドキュメンタリー作品を一挙に上映する映画祭を企画しました。

主催:国際有機農業映画祭実行委員会  
代表 大野和興

■会場 明治大学リバティタワー 第1会場:1021教室(2F、260名収容) 第2会場:1087教室(8F、60名収容)



【住所】  
東京都千代田区神田駿河台1-1  
TEL.03-3296-4545(代)



●JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅 下車徒歩3分  
●東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 下車徒歩5分  
●都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅 下車徒歩5分

■入場料 前売り2000円 当日2500円 (学生は前売・当日とも2000円)

前売りチケットをご希望の方は、11月20日までに電話、FAX、メールのいずれかで下記にお申し込みのうえ、郵便振替口座に代金をお払い込みください。振替の控えを当日受付で提示ください。チケットとお引き換えします。 ※再入場自由です。半券をご提示ください。

前売りチケット受付:アジア太平洋資料センター(PARC)  
電話:03-5209-3455 FAX:03-5209-3453 ticket@yuki-eiga.com  
郵便振替口座:00240-7-133560 加入者名:国際有機農業映画祭実行委員会

■後援

農水省 キューバ大使館 学校法人・アジア学院 明治学院大学国際平和研究所 反農業東京グループ

■公式ウェブサイト <http://yuki-eiga.com/>

# 2007 国際有機農業映画祭

「1%を選択した人びと」

2007  
11.24

上映作品

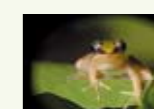


食の未来 (2004年、米国)

自然農-川口由一の世界 1995年の記録 (1997年、日本)



The Real Dirt on Farmer John (農民ジョンの本物の土 2005年、米国)



石おじさんの蓮池 (2005年、台湾)



根の国 (1981年、日本)



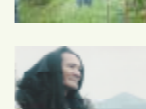
種子を守れ! (1993年、インド)



危険なオレンジ (2005年、タイ)



あぶない野菜 (2002年、日本)



死の季節よ、さらば (2006年、フィリピン)



サルー!ハバナ キューバ都市農業レポート (2006年、日本)



農業禍 (1967年、日本)



日本の公害経験~農業その光と影 (2007年、日本)



懐かしい未来:ラダックから学ぶこと (原題 Ancient Futures: Learning from Ladakh 1992年、英国)



地域から始まる未来:グローバル経済を超えて (原題 Local Futures: Beyond Global Economy 1998年、英国)

明治大学リバティタワー

2007年11月24日(土)

開場/9:10 開催時間/9:30~20:00

主催:国際有機農業映画祭実行委員会